

# 「すこやか若人育成推進事業」の取組について

～次代の北海道を担う青少年育成協議会～

## ■ 趣 旨

道では、道内の青少年に、自身の努力と社会との関わりとを自覚させながら、次代の担い手としての自立を促し、もって将来の地域、産業を担う青少年の人づくりを進めることを目的として、平成21年度に道内経済団体等と共同で「次代の北海道を担う青少年育成協議会」を設立。

以来、「日本の次世代リーダー養成塾」へ道内の高校生を派遣。

## ■ 「日本の次世代リーダー養成塾」の概要

### ○ 事業内容

- ・毎年7月から8月の2週間、高校生を対象として、サマースクール形式で実施。
- ・各界の著名人による講義や体験学習、講師や企業人を交えたディスカッションなど、多様なカリキュラムで構成され、全国から集まった仲間との合宿生活により学びあい、交流を深める。
- ・アジア各国から招待した高校生とともに、アジアの課題を議論し、アジアの未来を考える。

### ○ 実施主体

日本の次世代リーダー養成塾（任意団体、事務局：東京都所在）

塾長 榊原 定征 一般社団法人日本経済団体連合会会長

理事 高橋 はるみ 北海道知事 ほか21名

### ○ 事業目的

- ・経済界や地方自治体を中心となり、全国の高校生を対象に、世界を舞台に活躍する人材育成を目指す。

### ○ 開催状況

- ・平成16年から、毎年福岡県で開催、今年で12回目（北海道は、平成21年度から「参画県」）
- ・過去の講師…榊原英資/青山学院大教授、マティール・モハド/マレーシア元首相等超一流の講師陣

### ○ 本年度の開催予定

- ・日 程 平成27年7月25日(土)～8月7日(金)
- ・宿泊施設 グローバルアリーナ(福岡県宗像市)他

## ■ 次代の北海道を担う青少年育成協議会の取組

### ○ 高校生の派遣状況

平成21年度以降、参画県推薦枠の10名を募集。書類、面接による選考の上、派遣生徒を決定。

年度	人数	内 訳
H21	8	立命館慶祥(3)、札幌国際情報(1)、遺愛女子(1)、函館中部(1)、函館ラサール(1)、旭川龍谷(1)
H22	10	遺愛女子(3)、立命館慶祥(2)、札幌国際情報(1)、江別(1)、北見北斗(1)、札幌開成(1)、北嶺(1)
H23	11	遺愛女子(4)、札幌国際情報(3)、立命館慶祥(1)、札幌光星(1)、室蘭大谷(1)、飛鳥未来(1)
H24	7	遺愛女子(5)、札幌国際情報(1)、登別明日(1)
H25	10	遺愛女子(5)、札幌国際情報(1)、登別明日(1)、函館ラサール(1)、札幌光星(1)、美幌(1)
H26	10	遺愛女子(4)、立命館慶祥(2)、札幌国際情報(1)、とわの森三愛(1)、帯広柏葉(1)、留萌(1)
H27	9	遺愛女子(3)、札幌西(1)、北嶺(1)、立命館慶祥(1)、とわの森三愛(1)、芦別(1)、札幌工業(1)
計	65	

### ○ 構成団体

北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道経済同友会、北海道商工会連合会北海道中小企業団体中央会、一般社団法人北海道建設業協会、公益社団法人北海道観光振興機構、北海道商店街振興組合連合会、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道漁業協同組合連合会、北海道林業協会、北海道森林組合連合会、北海道木材産業協同組合連合会、北海道高等学校PTA連合会、一般社団法人北海道貿易物産振興会、公益財団法人北海道青少年育成協会、北海道教育委員会、北海道（全19団体）

### ○ 道独自の取組

- ・参画県枠10名のうち3名を「職業学科等枠」として、多様な人材の参加を促進
- ・経済的理由により参加が困難な生徒に対して、参加費の一部減免制度を設定

### ○ 事業の効果

参加生徒の声 (H26年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成功している人は、若い頃に多くの失敗を経験していると知り、少しでも高い目標を立てて、それに向かっていこうという気持ちになった。</li> <li>・「調べる」ということを以前より活発にするようになった。</li> <li>・生活する上での物事の見方や、夢へ向かう自分の姿勢が変わった。</li> <li>・今の高校生はやる気がないと感じていたが、将来に希望が持て、未来を担う意思が固まった。</li> <li>・失敗する勇気を持てるようになった。</li> </ul>
-------------------	--